
済美高等学校

校長 郷 峰男

住所 岐阜市正法寺町 3 3 電話 058-271-0345

1 会の名称 済美高等学校学校評議員会（第 1 回）

2 会の構成	評議員	藤沢 昭男	厚見自治会連合会長	
		後藤 勇	厚見中学校校長	
		小川 克正	中部学院大学副学長	
		田邊 博臣	済美高等学校 P T A 会長	
		藤 良寛	弁護士	
		学校側	郷 峰男	校長
		吉田 洋造	副校長	
		山本 俊樹	教頭	
		酒井 寛	入試広報主事	
		南谷 義光	男女共学部主事	
		西島 麻里子	宗教主事	
		早川 信彦	教務主任	
		渡辺 龍一	生徒指導主事	

3 学校評議員の職務

校長の求めに応じて、学校運営について意見を述べる。

(済美高等学校学校評議員会規程第 1 条第 2 項)

- ## 4 会の開催
- ・日時 2009年6月26日（金）午後1時から午後3時30分
 - ・場所 小会議室
 - ・出席者 学校評議員 5名と学校教職員 6名

5 会の概要

(1) 校長挨拶

- ・挨拶と御礼
- ・昨年度の学校評価では教科指導及び入試広報で取り組みが不十分、のご指摘があった。今年度改善に向け学校運営を行っている。
- ・第 1 回は教科指導について、複数教員による授業を見学していただき教科指導の改善に資したい。
- ・過日厚見中学校 P T A が 86 名学校見学をしていただいたことの御礼。

(2) 授業参観

・以下の学科の第5限の授業を委員1人1クラス50分参観していただいた。

- ① 1年1組普通科総合選択コース（体育 岩田教諭・島崎教諭）
- ② 1年8組衛生看護科（基礎看護技術 蓮見教諭、小川教諭）
- ③ 3年5組保育教養科（課題研究 滝澤教諭・大崎教諭）
- ④ 3年7組ビジネス教養科（情報簿記 馬場教諭）
- ⑤ 3年7組ビジネス教養科（情報実践 長谷川教諭）

(3) 評議員会

① 開会の挨拶（校長）

学校要覧から本年度の学校教育指導の方針と重点について説明

- 1) 学校教育目標について（具体的にした。）
- 2) 職員数について
- 3) 学校運営組織について
- 4) 教育課程について
- 5) 生徒数について
- 6) その他（部活動参加率がアップした。花の日礼拝を実施した。）

② 議長の選出（学校評議員規程第7条3）

藤沢昭男先生を互選により選出

④ 議事協議（同規程第8条）

授業参観を終えての感想並びに教科指導の内容と方法についてのご意見。
ご意見については別紙のとおり。

⑤ 閉会の挨拶（校長）

(4) 事務連絡

今回は9月または10月に実施したい。後日ご案内をする。

2009年度 第1回学校評議員会

1 ねらい：多様な生徒の実態に即した複数教員による授業を見学していただき、成果及び問題点を指摘していただき、今後の教科指導の改善に資する。

2 日 時：2009年6月26日（金）
13:00～13:15 校長挨拶、日程説明
13:15～14:10 授業見学
14:20～15:20 学校評議員会

3 場 所：小会議室

4 該当教員：13:20～14:10

クラス	担当者	科目	教室	参観者
1年1組	岩田・島崎	体育	第2体育室（体育館1階）	藤沢様
1年8組	蓮見・小川	基礎看護技術	看護実習室（本館4階）	田邊様
3年5組	滝澤	課題研究	3-5教室（北舎2階）	小川様
3年7組	馬場	情報簿記	第1コンピュータ（北舎3階）	藤様
	長谷川	情報実践	第3コンピュータ（北舎4階）	後藤様

5 ご意見

☆体育

1年生とは思えない体格のよさであった。

33名のまとまりがあった。

授業の最初と最後で比較すると多くの生徒が上達していた。言葉は少なかったが先生の指導力を感じた。

ラジオ体操がきっちりできている子どもはすべてできていた。その逆も言える。

身体の柔軟性に欠ける生徒が多く、食育との関係もあるのではないかと。

☆基礎看護技術

目標の提示、学習の要点の説明がしっかりなされていた。

生徒は先生の説明を真剣に聴きメモを取っていた。

ベッドメイキングの説明が理路整然としておりわかりやすかった。

150分の授業であったため、その後の授業を見学したかった。それにより、生徒がどの程度先生の説明を理解し、どの程度できるかを見てみたかった。

☆課題研究

実習園への礼状を書く授業であった。

生徒は葉書を用意していたが説明は手紙の書き方であったためやや内容にミスマッチが生じていたのではないか。

グループごとに実習の様子などを発表させ、実習を通して感じたことを気づかせるよう工夫をするともっとよかったのではないか。

文章の形式にとらわれず、実習を通して体験したこと、発見したことなど自分たちの思いを素直な言葉で書かせたほうが園長にとってはうれしいのではないか。

手紙では、まず初めに生徒が何を書きたいのかをはっきりさせることが大切ではなかったか。ティームティーイティングの意味合いが薄かった。

☆情報簿記

現在はパソコンなしでは仕事にならない状況を考えると有益な授業であると思う。

50分の中味としては指導項目が少なかった。その原因としてはわからない生徒に対して時間をとられていた。

わかっている生徒は遅れている生徒が質問している間、何もしないでいたのがこの授業の難しさをあらわしていた。

一方通行ではなく双方向の授業展開でよい雰囲気の中で授業が行われていた。

☆情報実践

課題をきっちり示していた。

丁寧な説明であった。

課題がはっきりしていると生徒も手順がわかり授業に対する取り組みもよい。

指導案の中でも10時間中の1時間の課題がはっきり示されていた。

☆その他

部活動の加入率をもっと増やす工夫が必要である。

生徒と教員の懇談会を設けてはどうか。(授業評価で対応しているが部活・ホームルーム活動に対する声は残念ながら吸い上げていない)